



2022年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年2月10日

上場会社名 株式会社ゴルフ・ドゥ
 コード番号 3032 URL <http://www.golfdo.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐久間 功
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部長 (氏名) 並木 健二
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 名
 TEL 048- 851- 3111

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	4,273	11.8	222	24.6	225	27.7	211	66.4
2021年3月期第3四半期	3,822	5.6	178	808.0	176	561.8	127	

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 218百万円 (82.2%) 2021年3月期第3四半期 119百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	84.57	83.80
2021年3月期第3四半期	52.17	51.29

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	2,935	748	25.1	293.73
2021年3月期	3,088	518	16.2	204.26

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 736百万円 2021年3月期 498百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		0.00		0.00	0.00
2022年3月期		0.00			
2022年3月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,400	2.5	235	1.2	230	0.7	160	15.1	63.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	2,605,642 株	2021年3月期	2,540,642 株
期末自己株式数	2022年3月期3Q	99,200 株	2021年3月期	99,200 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	2,505,969 株	2021年3月期3Q	2,441,442 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会社方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9
3. 補足情報	10
売上高前年対比等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進み、一時は明るい兆しが見えてきましたが、オミクロン株が出現したことにより、その状況は一転し、影を落とし始めております。また、エネルギー資源や原材料の価格、輸送費などの世界的な高騰が国内流通にも波及してきており、個人消費への影響が懸念されます。海外においては、企業業績の急回復に伴い、欧米を中心に経済が持ち直しを見せている一方で、世界的に進むインフレや減速傾向にある中国経済は、世界経済の下振れリスクとして懸念されます。

リユース市場においては、Eコマースや個人間売買取引市場の拡大傾向が続いております。また、若年層を中心に「エシカル消費」や「サステナブル商品」といった環境に優しい消費スタイルが定着してきており、リユース市場の拡大が一層加速するものと期待されます。

ゴルフ用品市場においては、ゴルフ人気を背景とした需要は底堅く推移しているものの、世界的なゴルフ人気による需要の急増と原材料不足などによるサプライチェーンの混乱により、品不足が慢性化しております。なお、株式会社矢野経済研究所「YPSゴルフデータ」によりますと、2021年10月～12月の新品クラブ及びボールなど用品類の販売は、10月は緊急事態宣言の解除によって「お金と時間」をかける選択肢が増えたため、需要は力強さに若干欠ける結果となり、11月は品不足によりウッドのみが数量、金額ベースとも大幅なマイナスとなり、12月は人気モデルの新製品が発売されたこともあって、ウッド、アイアンは数量、金額ベースとも前年同期を10%以上上回りました。

ゴルフ場及び練習場においては、経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」によりますと、2021年10月～12月（12月は速報値）の利用者数前年同月比は、ゴルフ場が10月108.6%、11月101.7%、12月102.9%、練習場が10月103.5%、11月102.3%、12月99.1%となりました。3密回避レジャーとしてのゴルフ人気に加え、秋シーズンは好天にも恵まれたことが堅調な実績値にも表れております。なお、ゴルフ練習場は12月が僅かに前年同月を下回りましたが、11月まで17ヶ月連続で前年同月を上回っております。

このような経営環境のなか、当社においては、2021年5月に公表した「中期経営計画 Challenge 2026」の目標達成に向け取り組みを進めており、ゴルフ人気による力強い需要を背景に、前々第3四半期連結累計期間を大幅に上回った前第3四半期連結累計期間の業績を更に上回って推移しております。また、デジタル面からの訴求強化を図るべく、4月にリニューアルしたECサイト「ゴルフドゥ！オンラインショップ」は、リニューアル後に伸び悩んでいた業績も継続的に機能や利便性の向上に努めたことで、徐々にではありますが回復に向かっております。また、九州地方の6店舗は直営店化して1年間が経過いたしました。各店とも業績は堅調に推移しており、当第3四半期連結累計期間の業績にもその効果が表れております。なお、3密回避レジャーとして「若年層の新規ゴルファー」や「中高年層の再開ゴルファー」が増加したことによって、前連結会計年度からゴルフ市場への特需が発生しておりますが、その特需も「ゴルフ用品」においてはほぼ一巡したものと考えられ、今後は特需から紐づく買い換え需要を確実に取り込んでいくことが当面の課題となります。

直営事業においては、7月、8月は緊急事態宣言等の適用に加え、オリンピック開催下での営業となり、3密回避レジャーとして急激に盛り上がった前年同月と比較するとやや落ち着いた感がありましたが、トップシーズンである10月以降は緊急事態宣言等の解除により行動制限が緩和されたことや、シーズンを通して好天にも恵まれたことで店舗は大変賑わい、大きな実績を残した前年同期をも上回りました。ただし、サプライチェーンの混乱により、新品クラブの供給体制が万全でなかったことが悔やまれ、早期の正常化が待たれます。なお、当第3四半期連結累計期間の直営店売上高前年増減率は、全店ベースで21.6%増、既存店ベースで7.8%増となりました。

フランチャイズ事業においては、「ゴルフドゥ！」店舗に関する動向は直営店とはほぼ同様ではありますが、ゴルフ人気の追い風は続いていると感じつつも、業績の確保には店舗においてもそれ相応の取り組みが必要であることが前連結会計年度と大きく異なる点であり、その傾向は徐々に色濃くなってきております。また、中古クラブの在庫不足に加え、新製品を中心とした新品クラブの供給不足が続いており、販売ロスが徐々に増えてきております。しかしながら、「ゴルフドゥ！」の店頭実績に限れば、前年並みに推移しております。なお、当第3四半期連結累計期間のフランチャイズ店売上高前年増減率は、全店ベースで3.6%減、既存店ベースで6.8%増となりました。

当第3四半期連結累計期間における「ゴルフドゥ！」のオープンは、11月にフランチャイズ店として「甲府パイパス店」が新規オープンし、2021年12月31日現在の「ゴルフドゥ！」は、直営25店舗、フランチャイズ50店舗で合計75店舗となりました。なお、当第3四半期連結累計期間のチェーン合計売上高前年増減率は、全店ベース6.2%増、既存店ベース7.2%増となりました。

営業販売事業においては、米国輸入品の欠品や納期遅れが依然続いており、業績回復は思うように進んでおりません。国内ECモールに出店している「GOLF J-WINGS」は、輸入品の優先投入を継続し、堅調な業績で推移しておりますが、当第3四半期に限ると大幅に業績を伸ばした前年同期には届きませんでした。

アパレル事業においては、低調であった8月、9月とは打って変わり、当第3四半期は好調に推移いたしました。緊急事態宣言の解除により来店客数が増加したことに加え、購買率も上昇しております。また、気温の低下と共に防寒着を中心とした冬物の動きが活発になり、12月は過去最高の月間売上高となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は売上高42億73百万円（前年同四半期比11.8%増）、営業利益2億22百万円（同24.6%増）、経常利益2億25百万円（同27.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億11百万円（同66.4%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

（直営事業）

当第3四半期連結累計期間における直営事業の売上高は31億17百万円（前年同四半期売上高は26億32百万円）となりました。また、セグメント利益は3億14百万円（前年同四半期セグメント利益は2億43百万円）となりました。

（フランチャイズ事業）

当第3四半期連結累計期間におけるフランチャイズ事業の売上高は3億58百万円（前年同四半期売上高は3億50百万円）となりました。また、セグメント利益は1億13百万円（前年同四半期セグメント利益は1億22百万円）となりました。

（営業販売事業）

当第3四半期連結累計期間における営業販売事業の売上高は8億22百万円（前年同四半期売上高は8億63百万円）となりました。また、セグメント利益は22百万円（前年同四半期セグメント利益は23百万円）となりました。

（アパレル事業）

当第3四半期連結累計期間におけるアパレル事業の売上高は37百万円（前年同四半期売上高は33百万円）となりました。また、セグメント利益は2百万円（前年同四半期セグメント損失は3百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1億53百万円の減少となり、29億35百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1億69百万円の減少となり、21億87百万円となりました。これは主に商品が73百万円増加、現金及び預金が2億28百万円、売掛金が53百万円減少したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ16百万円の増加となり、7億46百万円となりました。これは主に無形固定資産が64百万円増加、有形固定資産が22百万円、投資その他の資産が25百万円減少したことによるものです。なお、当第3四半期連結会計期間において、特別清算終了による貸倒確定により、長期貸付金が2億51百万円、貸倒引当金が2億51百万円、それぞれ減少しております。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ3億84百万円の減少となり、21億86百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ2億64百万円の減少となり、15億9百万円となりました。これは主に買掛金が1億8百万円、1年内返済予定の長期借入金が27百万円、未払法人税等が96百万円、賞与引当金が33百万円減少したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ1億19百万円の減少となり、6億76百万円となりました。これは主に長期借入金が1億4百万円、社債が20百万円減少したことによるものです。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ2億30百万円の増加となり、7億48百万円となりました。これは主に利益剰余金が2億11百万円増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は25.1%（前連結会計年度末は16.2%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、2021年5月14日付で公表いたしました内容に変更はありません。なお、業績予想は今後の新型コロナウイルス感染症が当社へ与える影響など、現時点で想定しうる要素を可能な限り考慮しておりますが、業績予想の修正が必要となった場合は速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	895,242	666,442
売掛金	377,700	324,067
商品	1,016,869	1,090,257
短期貸付金	9,372	9,516
未収還付法人税等	—	35,693
その他	58,764	62,563
貸倒引当金	△1,252	△1,252
流動資産合計	2,356,697	2,187,289
固定資産		
有形固定資産	255,953	233,419
無形固定資産	126,562	190,647
投資その他の資産		
投資有価証券	13,913	14,361
長期貸付金	318,421	60,167
敷金及び保証金	172,707	172,710
建設協力金	40,671	31,457
繰延税金資産	37,886	30,412
その他	18,425	16,383
貸倒引当金	△253,698	△2,595
投資その他の資産合計	348,326	322,898
固定資産合計	730,842	746,964
繰延資産		
社債発行費	1,064	755
繰延資産合計	1,064	755
資産合計	3,088,603	2,935,009
負債の部		
流動負債		
買掛金	387,708	279,008
短期借入金	805,500	800,677
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	179,571	151,771
未払法人税等	96,063	—
賞与引当金	49,533	15,692
ポイント引当金	39,000	34,185
株主優待引当金	8,414	6,364
その他	188,475	201,783
流動負債合計	1,774,267	1,509,483
固定負債		
社債	40,000	20,000
長期借入金	488,295	383,516
退職給付に係る負債	143,281	144,002
資産除去債務	82,065	82,692
その他	42,492	46,332
固定負債合計	796,134	676,543
負債合計	2,570,401	2,186,026

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	506,120	515,838
資本剰余金	159,523	169,240
利益剰余金	△103,688	108,244
自己株式	△98,208	△98,208
株主資本合計	463,747	695,115
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,338	△890
為替換算調整勘定	36,276	41,981
その他の包括利益累計額合計	34,938	41,091
新株予約権	19,516	12,776
純資産合計	518,201	748,983
負債純資産合計	3,088,603	2,935,009

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	3,822,263	4,273,585
売上原価	2,345,285	2,608,393
売上総利益	1,476,978	1,665,192
販売費及び一般管理費	1,298,646	1,443,025
営業利益	178,331	222,166
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,503	2,187
受取手数料	3,739	3,768
為替差益	16	1,592
助成金収入	2,661	3,447
その他	1,282	3,066
営業外収益合計	10,203	14,061
営業外費用		
支払利息	11,610	10,119
その他	453	826
営業外費用合計	12,064	10,946
経常利益	176,471	225,281
特別利益		
債務免除益	—	4,445
特別利益合計	—	4,445
特別損失		
固定資産除却損	—	4,170
特別損失合計	—	4,170
税金等調整前四半期純利益	176,471	225,556
法人税、住民税及び事業税	58,351	5,965
法人税等調整額	△9,242	7,657
法人税等合計	49,109	13,623
四半期純利益	127,361	211,933
親会社株主に帰属する四半期純利益	127,361	211,933

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	127,361	211,933
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	889	448
為替換算調整勘定	△8,544	5,704
その他の包括利益合計	△7,654	6,152
四半期包括利益	119,706	218,086
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	119,706	218,086
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会社方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより以下のとおり変更しております。

売上時に付与したポイントについては、従来は付与したポイントの利用に備えるため、将来利用されると見込まれる額をポイント引当金として計上し、ポイント引当金繰入額を販売費及び一般管理費として計上しておりましたが、付与したポイントは顧客に対する履行義務と認識し、契約負債を計上し、顧客がポイントを値引として使用したときに売上高に振り替えております。

なお、当社では買取時及び入会時等にもポイントを付与している為、売上時以外に付与したポイントに関しては、従来通りのポイント引当金として計上しております。

また、収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高が46,517千円減少し、販売費及び一般管理費は38,772千円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ7,745千円減少しております。なお、利益剰余金の当期首残高への影響はありません。また、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号 2020年3月31日）第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」（企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」（企業会計基準第10号 2019年7月4日）第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。この変更による連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の（追加情報）（新型コロナウイルス感染症の拡大による影響及び会計上の見積りについて）に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	直営	フランチャイズ	営業販売	アパレル	合計			
売上高								
外部顧客への 売上高	2,632,283	342,004	814,316	33,659	3,822,263	—	—	3,822,263
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	8,919	49,653	—	58,572	3,664	△62,236	—
計	2,632,283	350,924	863,969	33,659	3,880,836	3,664	△62,236	3,822,263
セグメント利益 又は損失(△)	243,317	122,572	23,079	△3,299	385,671	114	△207,453	178,331

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない広告代理店事業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「直営事業」セグメントにおいて、株式会社ゴルフ・ドゥ九州からの事業譲受によりのれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期累計期間においては26,830千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	直営	フランチャイズ	営業販売	アパレル	合計		
売上高							
外部顧客への 売上高	3,117,099	349,459	769,132	37,894	4,273,585	—	4,273,585
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	8,683	53,084	—	61,767	△61,767	—
計	3,117,099	358,143	822,216	37,894	4,335,353	△61,767	4,273,585
セグメント利益	314,986	113,782	22,503	2,807	454,080	△231,913	222,166

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 補足情報

売上高前年対比等

当第3四半期連結累計期間における「ゴルフドゥ！」店舗売上高前年対比は、以下のとおりであります。

	2021年10月	2021年11月	2021年12月	第3四半期合計 (10月～12月)	第3四半期累計 (4月～12月)
ゴルフドゥ！全店	99.8%	104.4%	100.1%	101.4%	106.2%
ゴルフドゥ！既存店	99.4%	101.4%	101.1%	100.6%	107.2%
同 直営店 全店	117.7%	107.2%	102.8%	108.9%	121.6%
同 直営店 既存店	100.1%	107.1%	102.8%	103.2%	107.8%
同 FC店 全店	88.6%	102.2%	98.0%	95.9%	96.4%
同 FC店 既存店	99.0%	97.3%	99.6%	98.7%	106.8%

当第3四半期連結累計期間における「ゴルフドゥ！オンラインショップ」売上高前年対比、アクセス数前年対比、会員数（合計）、会員数前年増加率は、以下のとおりであります。

	2021年10月	2021年11月	2021年12月	第3四半期合計 (10月～12月)	第3四半期累計 (4月～12月)
売上高前年対比	68.1%	85.4%	86.8%	79.9%	77.0%
アクセス数前年対比	93.8%	95.1%	89.3%	92.8%	92.9%
会員数（合計）					359千人
会員数前年増加率					6.7%

(注) 会員数は「ゴルフドゥ！オンラインショップ」の会員数であり、「ゴルフドゥ！」店舗の会員数とは異なります。